

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~7日	8月 ~14日	8月 ~21日	8月 ~28日	9月 ~4日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	214	40	25	47	35 (38)	14
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	240	57	37	29	48 (59)	39
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	19	9	4	2	6	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	14	5	10	4	5	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	24	7	5	4	3	4
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	9	2	1	2	4 (5)	2
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
\*その他の2件はアエロモナスでした。

## 広島県感染症発生動向週報

平成28年第35週(8月29日~9月4日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10		1			6	1	2
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					1		2
四類	1	日本紅斑熱	1							1
五類全数	2	急性脳炎	1			1				
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

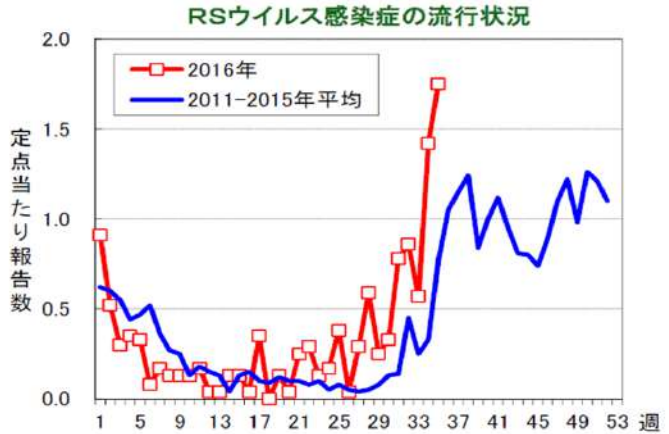
定点・全数把握疾患週報【広島市】(第35週 8/29～9/4)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. RSウイルス感染症

定点当たり1.75人と、前週と比べてやや増加しました。

RSウイルス感染症は、RSウイルスによって起きる急性呼吸器感染症です。年齢を問わず、生涯にわたって感染を繰り返しますが、生後数か月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、感染を避けるための注意が必要です。マスクの着用や咳エチケット、手洗いの励行など感染予防を心がけましょう。



2. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は10件となりました。例年、10月頃までは感染者が多い傾向にありますので、注意が必要です。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
														増減	微増減	
小児科	インフルエンザ	-	-	-	-		小児科	流行性耳下腺炎	9	0.38	0.48			急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	咽頭結膜熱	18	0.75	0.45		↗	小児科	RSウイルス感染症	42	1.75	0.77		↗	増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.79	0.73		↔	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-			微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	108	4.50	3.35		↔	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	1.13			微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	水痘	12	0.50	0.43		↘	眼科	細菌性髄膜炎	-	-	0.03			横ばい	↔	ほとんど増減なし
	手足口病	3	0.13	2.54			眼科	無菌性髄膜炎	1	0.14	0.14			横ばい	↔	ほとんど増減なし
	伝染性紅斑	12	0.50	0.17		↘	基幹	マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.31			横ばい	↔	ほとんど増減なし
	突発性発しん	12	0.50	0.45			基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			横ばい	↔	ほとんど増減なし
	百日咳	1	0.04	0.08			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			横ばい	↔	ほとんど増減なし
	ヘルパンギーナ	11	0.46	0.89			基幹							横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	109	男性(20歳代)・2人、男性(30歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	女性(50歳代)・O血清群不明
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	18	女性(80歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(38.5) 上気道炎	4	男	2016/08/01	咽頭拭い液	コサッキーウイルスB5型
流行性角結膜炎	角結膜炎	30	男	2016/07/27	結膜擦過物	アデノウイルス64型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.4) 肺炎 細気管支炎	0	男	2016/07/11	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	肺炎	0	男	2016/07/18	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腸重積	0	男	2016/06/28	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	腸重積	1	男	2016/06/28	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	嘔吐 嘔き気 下痢	1	男	2016/07/07	糞便	コサッキーウイルスB5型 ノロウイルスG2群 アデノウイルス6型
その他の疾患	発熱(39.6)	0	女	2016/07/22	咽頭拭い液 糞便	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(38.5)	0	不詳	2016/07/28	咽頭拭い液 糞便	ハレコウイルス3型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載